

第3・4回石垣ワーキンググループ（報告）

○第3回 平成30年7月20日（金）15:00~17:00

出席者：北野委員・田中委員・千田委員・宮武委員
文化庁・熊本県・熊本市・施工者ほか

○第4回 平成30年9月27日（木）13:00~17:00

出席者：北野委員・田中委員・宮武委員
文化庁・熊本県・熊本市・施工者ほか

1. 天守石垣復旧について○大天守石垣復旧・・・概ね了承 【資料4-2】

大天守石垣復旧設計資料は完成。現在、積み直し工事を実施中
→ 工事での課題は、委員の現地指導で解決していく。

○小天守石垣復旧・・・継続審議

小天守石垣の復旧工程と復旧設計資料の検討期間を報告
→ 復旧工程では、構造補強の検討を含めて再検討を行う。
復旧設計では、10月から検討を開始し、石垣積み直し工事は年明けに着手予定。

○小天守入口の安全対策・・・継続審議

小天守入口の安全対策について3案を提示
→ 結論を留保。

石垣の構造補強を検討した後で安全対策を考える、天守復旧工程の見直しを含めて検討。

○石垣解体調査成果・・・了承 【資料4-3】

石垣解体調査成果を報告
→ 江戸期石垣のグリ石・介石の詰め方など、江戸期の技術を可能な限り石垣復旧に活かす。

2. 飯田丸五階櫓石垣復旧について → 了承 【資料4-4】

飯田丸五階櫓台石垣解体修理のための周辺石垣の解体修理の必要性を提案
→ 修理対象石垣・修理対象範囲を決定するために石垣測量調査を実施する。

3. 長堀復旧について（第1回部会での指摘に対応）○長堀周辺の排水機能・水系調査・・・了承 【資料4-5】

竹の丸の排水調査結果を報告
→ 排水経路の不全は石垣に影響する懸念もあるため、地震で壊れた排水機能は回復する。

○長堀への樹木の影響・・・了承 【資料4-5】

樹木医による樹木の調査結果を報告
→ 堀に影響・枯死した5本は伐採。影響の恐れがある枝・根は剪定する。

○長堀北側排水溝付近の沈下に対する復旧の考え方・・・了承 【資料4-6】

竹の丸側の地盤は表土の流出が原因で、排水口背面は石垣が沈下していることを報告
→ 石垣の沈下は範囲が限定されるため長堀復旧工事は実施可能と判断。
沈下部分は今後も観察を続ける。